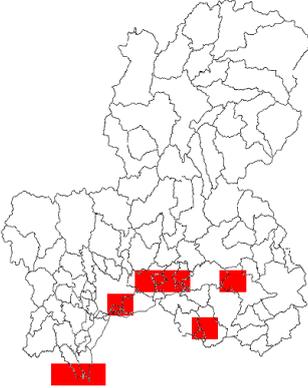


ナガバノウナギツカミ		<i>Persicaria hastatosagittata</i> (Makino) Nakai	準絶滅危惧
(環境省: 準絶滅危惧)			タデ科
選定理由	河川・ため池の改修や埋め立、湿田の乾燥化などにより生育環境が悪化している。		写真(岐阜県博物館) 標本 
形態の特徴	一年草。茎にはまばらに逆刺がある。葉はふつう卵状披針形で基部はほこ形か矢じり形、托葉鞘は筒状でえんもうがある。花は頭状、花柄に腺毛がある。		
生態的特徴	湿田・ため池や湿った河川敷などに生育する。		
分布状況	本州・四国・九州に分布する。岐阜県では恵那市から海津市まで南部の東西に分布する。		
減少要因	河川・ため池の改修や埋め立、湿田の乾田化などにより生育環境が悪化している。		
保全対策	河川・ため池等、生育地の改修時の工夫改良、湿田の保全。		
特記事項			
参考文献			

文責: 須賀瑛文